

ISMS基本方針

私たちは、保有する情報資産を漏洩、改ざん、盗難などから保護し、
情報に係わるリスクを最小限に抑えることとし、各種業務について適切な
リスクアセスメントを行い、リスクの所在の明確化を図り、
物理的、技術的なセキュリティ強化はもちろんのこと、
職員がセキュリティ意識を持って業務を推進する。
この考えのもと、以下のように情報セキュリティ基本方針を定める。

情報セキュリティ基本方針

1. 国民の信頼感及び安心感を確保するため、徹底したリスクマネジメントを行い、
問題発生予防に努める。
2. 各種物質の分析、測定、調査研究等のサービス業務は、確立されたリスクマネジ
メント手順に基づき的確に実施する。
3. 情報セキュリティに関する法令や契約上の義務を遵守する。
4. 業務に従事する全ての要員が、情報セキュリティの重要性を認識し、情報資産を
適切に活用できるよう、必要な教育・訓練を行う。
5. 本 ISMS は、定期的に、あるいは社会情勢及び顧客要望等の変化により必要に
応じて見直し、継続的な改善を行う。

2024年1月29日

公益財団法人 日本分析センター理事長 川原田 信市